

総務委員会資料

教育委員会

令和8年5月19日

1 令和9年度国の施策及び予算編成等に係る重点要望について【全協資料】

2 報告事項

- (1) 産業イノベーション人材育成等に資する高等学校等教育改革促進事業の
申請概要について …… P 1
- (2) 教員不足の状況と対策について …… P 2
- (3) 江津地域における新設校開校準備委員会の検討状況等について …… P 6
- (4) 令和8年3月高等学校卒業者の進路状況について …… P 24
- (5) 令和8年3月特別支援学校高等部卒業者の進路状況について …… P 26
- (6) 文化財（登録有形文化財）の登録について …… P 27
- (7) 島根県立古代出雲歴史博物館の再オープンについて …… P 29

産業イノベーション人材育成等に資する高等学校等教育改革促進事業の
申請概要について

類型	アドバンスト・エッセンシャルワーカー等育成支援	理数系人材育成支援	多様な学習ニーズに対応した教育機会の確保
校名	江津地域新設校 (江津・江津工業高校)	松江北高校	宍道高校
コンセプト	地域産業等を担うことができる専門性豊かな工業人材育成の拠点	理数的素養を持ちながら社会の課題解決に挑む人材育成の拠点	多様な学びを支える「学びのデザイン支援センター」の構築
取組概要	<p>① 地域が求める専門性豊かな人材育成に向けた学びの展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域ニーズに対応した学び等の実現に向け、実習棟の改修(教室の配置転換等)及び実習設備(レーザー加工機、重機シミュレータ等)の導入 <p>② 地元企業と連携し、現場を知るものづくり人材を育む学びの展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 放課後を利用し、ものづくり現場を舞台とした探究活動のプログラム開発 ・ 地元企業勤務者を講師とした講義の開設 ・ 高校生自らが小中学生向けものづくりの楽しさの紹介等を行うキャリア教育動画の制作 ・ 連携した活動の円滑な実施のため、コーディネーター等の配置 	<p>① 学校敷地内に理数系教育の拠点としてのラボを整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高度機器を配備し、大学等の協力も得て、探究の深化を行う産学官連携の拠点に位置づけ ・ 松江北高生徒のみならず、他校生にも開放し、体験・学習・研究を支援 <p>② 従来の2学科(普通科・理数科)の改編、新たな科目の設定を検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 文理を横断した学びにより理数的素養の育成を行う科目の検討 ・ 医師や研究職等の理数系人材の育成に資する高度な知識・技能を学ぶ科目の検討 ・ 理系A L Tによりオールイングリッシュで科学的・論理的学びを深める科目の検討 	<p>① 遠隔授業の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 開設困難科目の授業配信 ・ 習熟度別の授業配信 ・ 遠隔による合同授業の実施 <p>② 多様な学びの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日本語教育が必要な生徒へのA I多言語翻訳サービスの導入による学習支援 ・ 不登校傾向や対人関係に不安を抱える生徒等への心理的安全性が担保された仮想キャンパスの構築 <p>③ 通信教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 既存の紙をベースとした学びから、紙とデジタルのハイブリッド型通信教育への転換
申請額	19.1億円	26.7億円	15.2億円
申請額総額	61.0億円		

(※) 1千万円未満の金額については四捨五入

教員不足の状況と対策について

1 公立学校における欠員状況 [別紙1] 参照

- (1) 令和8年5月1日現在の欠員は、全体で35人（R7：59人）
- (2) 学級担任に欠員はない。
- (3) 学校単位で教員不在教科はない。
- (4) 令和8年4月1日時点の欠員37人から2人改善

令和8年5月1日現在 [速報値]、() は令和7年5月1日の数値

	1年期限 付き任用	短期任用 (産休・育休代替等)	計	令和8年4月1日からの 欠員数の増減(※)	【参考】 配置必要数
小学校	3人 (9人)	7人 (11人)	10人 (20人)	(+3人) ▲0人	3,105人
中学校	1人 (14人)	4人 (3人)	5人 (17人)	(+0人) ▲1人	1,873人
高等学校	8人 (12人)	7人 (5人)	15人 (17人)	(+1人) ▲3人	1,550人
特別支援学校	2人 (1人)	3人 (4人)	5人 (5人)	(+2人) ▲4人	959人
計	14人 (36人)	21人 (23人)	35人 (59人)	(+6人) ▲8人	7,487人

(注) 配置必要数には、県単独の加配を含む。

(※) 4月1日から5月1日までの欠員数の増減

+：教員の必要数増（産休・育休等） 計6人

▲：新規の人材確保等 計8人

2 欠員ゼロに向けた対応（主なもの） [別紙2] 参照

教員確保に向けた直接的な取組と働き方改革及び教職員へのサポート強化を車の両輪として進めていく。

(1) 教員採用試験の見直し

- ・ 一般選考試験の前倒し実施（5月に1次試験、6～7月に2次試験）【R7～】
→ 受験者数の増加 R7：1,070名（R6より111名増加）
- ・ U・Iターンを考える他県現職教員等を対象とした「特別選考試験」の実施【R4～】
→ R4～R7（4年間）：72名採用
- ・ 県内大学の学長推薦による「島根創生特別枠」による選考の実施【R5～】
- ・ 県外連携大学の学長推薦による「島根連携特別枠」による選考の実施【R8～】

- (2) 教員志望者の裾野拡大（高校生・大学生及び免許保持者へのアプローチ）
- ・ 高校生対象「教員志望セミナー（教師塾）」の実施【R 3～】（拠点校6校＋推進校10校）
 - R 7：集合型研修に延べ173名参加（R 6より60名増加）
 - ・ 県内外大学1・2年生の学校体験・実習の実施【R 5～】
 - ・ 県内大学生対象「学校職場体験5 days」
 - R 7：延べ50名参加（R 6より25名増加）
 - ・ IPU環太平洋大学アウトリーチ教育実習
 - R 7：45名参加 R 6：63名参加 R 5：72名参加
 - ※同大学新卒者のR 7実施教員採用試験出願者数：31名（R 6より23名増加）
 - ・ 広島文教大学観察実習
 - R 7：69名参加 R 6：92名参加
 - ・ 教職を一旦離職した者等を対象とした「プレティーチャーセミナー」【R 4～】
- (3) 教職員の働き方改革の推進
- ・ 島根県教職員働き方改革プラン（県立学校の働き方と市町村教育委員会への取組）を策定し、プランに基づいた取組を強化【R 8～】
 - ・ スクール・サポート・スタッフ、部活動指導員、教頭マネジメント支援員等外部サポート人材の配置拡充
 - ・ 次世代校務支援システムの導入など校務DXの推進
- (4) 相談・サポート体制強化（新規採用者等の定着促進、離職防止、採用辞退者の削減）
- ・ スクールロイヤー、教員サポーター（教職員の相談窓口）の配置
 - ・ スクールカウンセラーの配置拡充
 - ・ 島根大学主催「山陰若手教員交流セミナー」、島根県教育センター主催「若手教員授業力向上セミナー」等若手教員を対象とした研修や交流の機会の充実
 - ・ 初任者研修プログラムに国立三瓶青少年交流の家における宿泊研修を再開【R 8～】
 - ・ 採用試験名簿掲載者を対象とした採用前「フォロー交流会」（松江、岡山、大阪の3会場）を実施、島根での学校勤務に関する「なんでも相談会」（随時オンライン面談）の前倒し実施【R 8～】
- (5) 募集広報・教職の魅力発信強化
- ・ 特設サイト「しまねの先生ナビ」における動画配信等教職の魅力発信
 - ・ 採用試験名簿掲載者にしまね暮らしの魅力をまとめたパンフレットを送付
- (6) 教職員の定数改善、教職員の処遇改善、教員就職者に対する奨学金返還減免制度の拡充等についての国への要望

【参考】関連データ

別紙 1

	必要教員の主な変動要因			退職・採用・再任用					
	増要因		減要因	④ 退職者 (辞職者含)	新規採用者			⑧ 再任用者 (名簿登載者)	⑨ 定年引上げに 伴う60歳以上 継続勤務者 [R6~]
	① 特別支援 学級数 (対象児童 生徒数)	② 少人数学級編 制の県単加配 (課題解決・制 度改正加配含)	③ 児童生徒数		⑤ 採用者 (名簿登載者)	採用試験(前年度実施)の状況			
				⑥ 受験者数	⑦ 倍率 (名簿登載者)				
H13	367 (609)	0	93,019	206	121 (129)	1,568	13.0 (12.2)	0	
H23	492 (1,059)	57	75,006	188	164 (165)	1,245	7.6 (7.5)	24 (26)	
H24	499 (1,069)	43	73,348	235	159 (167)	1,220	7.7 (7.3)	23 (23)	
H25	511 (1,097)	48	72,363	235	156 (166)	1,218	7.8 (7.3)	31 (41)	
H26	504 (1,129)	98	71,379	263	164 (167)	1,152	7.0 (6.9)	44 (54)	
H27	524 (1,184)	127	70,335	259	226 (233)	1,180	5.2 (5.1)	50 (52)	
H28	537 (1,272)	175	69,697	294	225 (230)	1,251	5.6 (5.4)	81 (86)	
H29	534 (1,306)	179	68,858	290	209 (216)	1,204	5.8 (5.6)	133 (141)	
H30	554 (1,468)	193	68,156	303	216 (216)	1,184	5.5 (5.5)	168 (198)	
R1	578 (1,527)	198	67,565	304	245 (264)	1,142	4.7 (4.3)	203 (242)	
R2	614 (1,672)	179	67,031	316	265 (278)	998	3.8 (3.6)	271 (300)	
R3	617 (1,783)	148	66,409	363	260 (284)	1,042	4.0 (3.7)	307 (339)	
R4	638 (1,899)	138	65,939	320	280 (302)	906	3.2 (3.0)	379 (406)	
R5	652 (2,011)	122	65,571	174	271 (294)	891	3.3 (3.0)	406 (451)	
R6	649 (2,096)	120	64,840	315	277 (327)	996	3.6 (3.0)	252	142
R7	661 (2,176)	94	63,624	180	281 (329)	959	3.4 (2.9)	245	168
R8	670 (2,232)	81	62,050		269 (400)	1,070	4.0 (2.7)	232	221

※ ①～③は5月1日現在の数値、④は年度末現在、⑤⑧⑨は4月1日の数値

(参考) 少人数学級編制の変遷

(参考) 少人数学級編制の変遷

H15: 小1 30人学級導入

H16: 小2 30人学級導入

H26: 小3・小4・中1 35人学級導入

H27: 小5・中2 35人学級導入

H28: 小6・中3 35人学級導入

R3: 小2 32人学級、中3 38人学級に変更

R4: 中2 38人学級に変更

※国学級編制基準変更(35人)

H23	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10
小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3

しまねの教員確保プランの全体像

別紙2

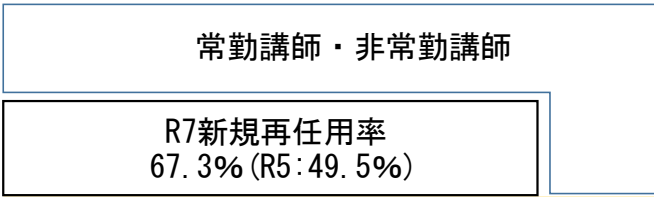
処遇改善

常勤講師の給料表上の適用制限撤廃、退職手当支給 (R2~)
 非常勤講師の期末・勤勉手当支給 (期末R2~、勤勉R6~)
 再任用者の期末・勤勉手当支給月数引上げ (R8~)

R4~
 再任用管理職、
 再任用指導主事・
 社会教育主事の拡大

R6~
 特例任用
 定年前再任用短時間
 (暫定再任用短時間)

他県で定年退職した教員



R4~
 Uターン・Iターン
 フェア (年2回)

学 校

採用試験倍率は年々低下 R7:2.7倍

本庁・教育事務所・教育センター・社会教育施設

他県で働く現職教員・退職教員

R4~
 再任用者の拡大
 業務見直し

R5~R7
 削減
 事務振替

正規教員は計画通り採用できても、常勤講師のなり手が大幅に不足している状況

R4~
 特別選考試験【5月と10月実施】
 ※面接試験のみ

事務職員
 に振替

R4...27名受験、14名採用
 (Uターン8名、Iターン5名、その他1名)
 R5...26名受験、13名採用
 (Uターン4名、Iターン7名、その他2名)
 R6...32名受験、21名採用
 (Uターン6名、Iターン14名、その他1名)
 R7...46名受験、24名採用
 (Uターン10名、Iターン9名、その他8名)
 R8...39名受験

島大教育学部附属義務教育学校

市町村教育委員会

R5~R7
 割愛削減

新卒者のほか
 ①他県教員 (現職・退職者)
 ②若手免許保持者で異業種
 に就職した者
 がターゲット

異業種へ就職した者

R5~R7
 割愛削減
 派遣削減

R4~プレティーチャー
 セミナー
 R5~採用試験民間企業等
 経験者への加点
 R6~採用試験社会人枠
 拡大 (中学)

市町村で事務
 職員に振替

大学生 ※島大教育学部の教員就職率(64.0%)
 (島根県教員就職率34.6%) R7年度

大学との連携強化 R5~
 県内2大学1・2年生学校
 体験 (5日間)
 R5:13名、R6:25名、R7:50名
 環太平洋大学2年生(3日間)
 R5:72名、R6:63名、R7:45名
 広島文教大学(1日間)
 R6:92名、R7:69名
 R7~採用試験前倒し実施

鳥取県からも
 島大附属に割愛派遣
 配置適正化による削減

高校生

教員志望セミナー「島大教師塾」「県立大まなゼミ」拡充
 島大教師塾 (集合型) R6:8校113名、R7:13校173名

江津地域における新設校開校準備委員会の検討状況等について

1 新設校開校準備委員会について

- ・ 江津高校と江津工業高校を統合した新たな魅力ある高校を作るため、令和6年2月に設置
- ・ 県教育委員会、江津高校及び江津工業高校に加え、オブザーバーとして江津市、江津市教育委員会、GO▶GOTSU コンソーシアム、両校学校運営協議会も参加
- ・ 令和6年2月27日から令和7年3月31日までをⅠ期、令和7年4月1日から令和10年3月31日までをⅡ期と設定
- ・ Ⅰ期の検討内容については、令和7年3月に「Ⅰ期まとめ」として公表済み

2 令和7年度 Ⅱ期準備委員会の開催日および主な検討内容

回	日時	検討内容
第1回	令和7年4月28日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今後の検討スケジュール ・ 校名 ・ 校歌
第2回	7月14日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 円滑な統合に向けた取組 ・ 教育課程の編成 ・ 児童生徒および保護者からの意見聴取 ・ 校名 ・ 校歌
第3回	10月15日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教育課程の編成 ・ 児童生徒および保護者からの意見聴取 ・ 部活動
第4回	8年2月9日	<ul style="list-style-type: none"> ・ スクール・ミッション ・ スローガン・コンセプト ・ 教育課程の編成 ・ プロジェクトチーム（部会）の立ち上げ ・ 第5回以降の検討スケジュール

3 令和7年度に決定した主な事項

(1) 単位制の導入

学科の枠を越えた柔軟な科目選択を可能にし、生徒一人ひとりの学習ニーズに応じた学びを実現するため、単位制を導入する。

(2) スクール・ミッション（各高校に期待される社会的役割等）

【普通科高校】

普通科系学科と工業系専門学科が融合した特色ある学びや、地域と連携した探究的な学び等を通して、地域や社会に貢献するために挑戦し、未来を変えていく力をもった人材を育成する。

【工業に関する学科を設置する高校】

地元企業等との連携による取組の成果を生かし、社会の変化や地域の産業界からのニーズに応えるものづくり教育を通して、地域産業等を担うことができる専門性豊かな工業人材を育成する。

- ・ 島根県教育委員会は設置している学科に応じて各校のスクール・ミッションを規定
- ・ 工業に関する学科を設置する高校のスクール・ミッションは全校共通

(3) 施設整備について

- ・ 新設校の開校に向けた施設整備を以下のとおり実施
 - ① 江津工業・江津高等学校共同寄宿舍改修
女子生徒も利用できるよう既存寄宿舍の改修
【事業期間】 R 7～8
【事業費】 4.5 億円
 - ② 江津地域県立高等学校新設整備
管理教室棟改築・解体、既存校舎改修、進入路造成等の施設整備
【事業期間】 R 7～13（第1期工事）
【事業費】 80.8 億円

<参考>

第1期工事後に想定される施設整備（整備時期や内容は未定）

- ・ 屋内運動場改築・解体、グラウンド造成等

4 令和8年度に検討する主な事項

- ・ グランドデザイン
- ・ 新しい普通科のあり方
- ・ 教育課程
- ・ 校名
- ・ 校歌
- ・ 校章
- ・ 入学者選抜
- ・ 制服
- ・ 施設整備 など

5 児童生徒および保護者からのアンケート結果

別紙のとおり

江津地域における新設校にかかるアンケート結果について

1 対象

- ・ 江津市、浜田市、大田市及び邑智郡内の小学校および特別支援学校小学部の5・6年生児童とその保護者
- ・ 江津市、浜田市、大田市及び邑智郡内の中学校および特別支援学校中学部の生徒とその保護者
- ・ 江津高校、江津工業高校、江津清和養護学校高等部の生徒とその保護者

2 期間

令和8年1月19日（月）～2月18日（水）

3 内容

内容	小	中	高	保	※ 「小」は小学生・小学部生 「高」は高校生・高等部生	※ 「中」は中学生・中学部生 「保」は保護者
・ 通いたくなる学校	○					
・ 今後深く学びたい教科	○	○				
・ 興味・関心をもっていること		○			※ ○は回答対象者	
・ 学習内容で充実させてほしいこと		○	○	○		
・ 必要だと思う学校行事		○	○	○		
・ 必要だと思う部活動		○	○	○		
・ 制服の必要性		○	○	○		
・ 通学に関する意見・要望		○		○		
・ 校則の必要性		○	○	○		
・ 給食の提供		○		○		
・ 新設校に期待すること		○	○	○		

4 回答数

小学生・小学部生	222 件	中学生・中学部生	163 件		
高校生・高等部生	108 件	保護者	404 件	合計	897 件

5 回答およびそれに対する県教育委員会のコメント

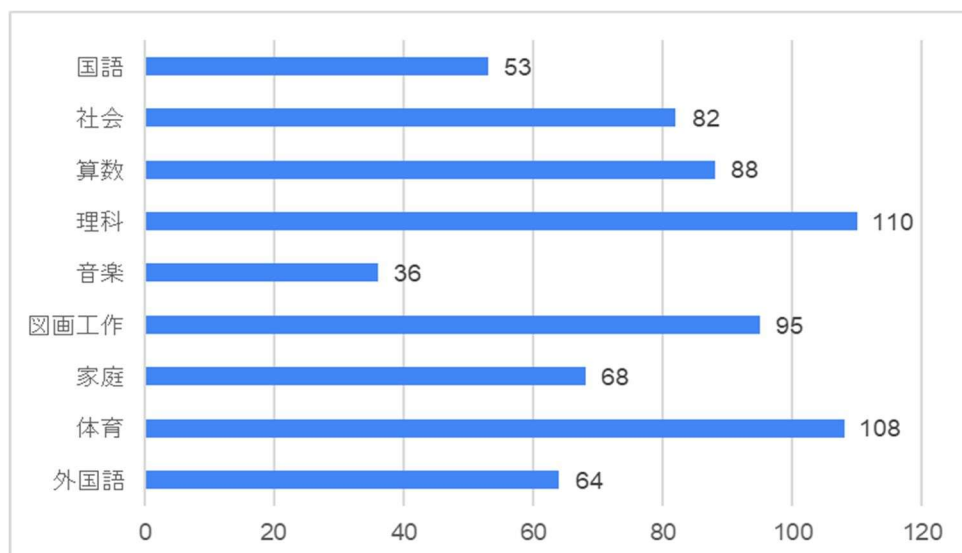
次ページ以降に記載



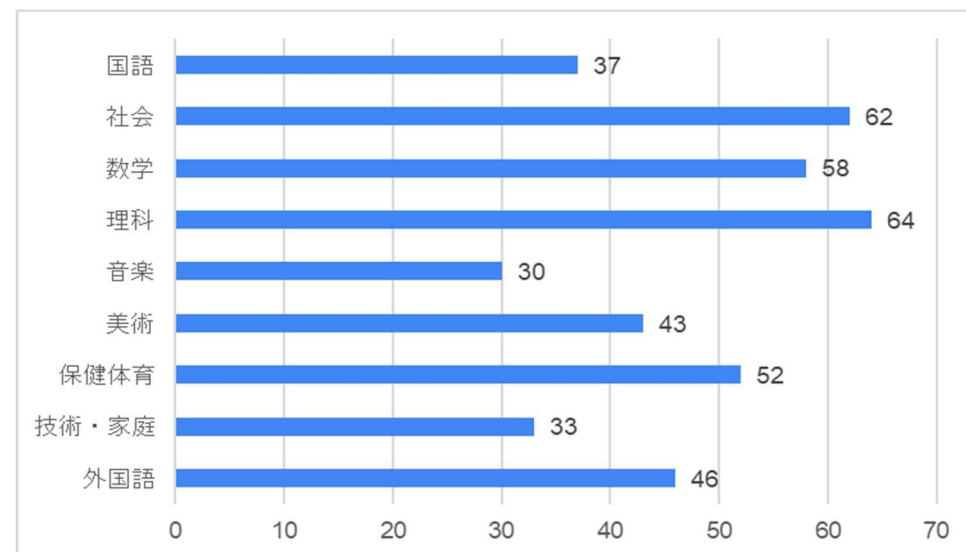
現在習っている教科の中で、中学生（または高校生）になって、もっと深く学んでみたいもの

(選択式・複数回答可)

【小学生・小学部生】



【中学生・中学部生】



興味・関心をもっていること (自由記述式)

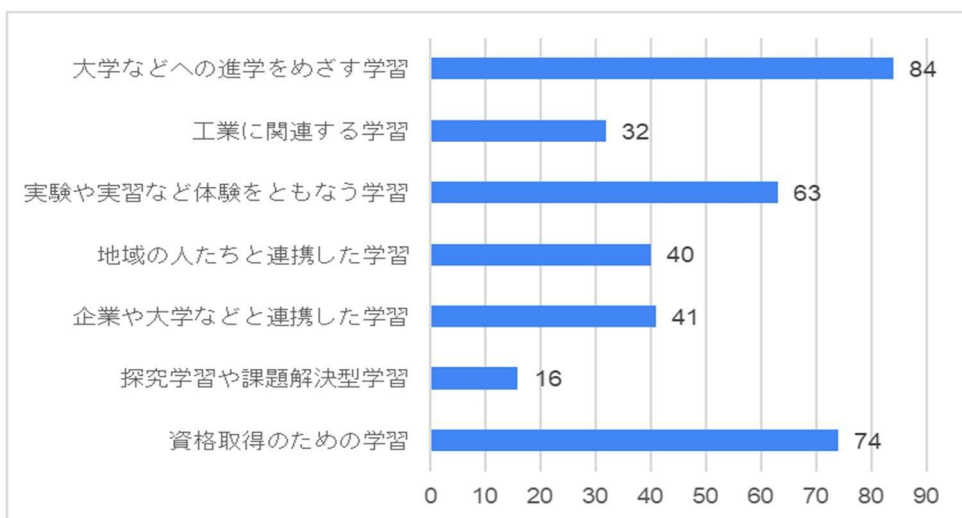
【中学生・中学部生】

- 歴史・文化・人文科学系 戦国時代、江戸時代、百人一首、地理、文学、戦争、地域活動、探究 など
- 医療・福祉・教育系 医療、人体、薬学、子ども、心理学、美容、メイク、ファッション など
- テクノロジー・科学・宇宙系 AI、プログラミング、パソコン、eスポーツ、インターネット、宇宙、地学、生物、科学実験、物理、鉱物、環境問題、ロボット、電気、機械、自動車、鉄道 など
- 芸術・クリエイティブ・表現系 イラスト、絵を描くこと、デザイン、音楽、楽器、歌、建築、模型 (CAD・製図)、大工、裁縫 など
- スポーツ・身体活動系 野球、サッカー、バレーボール、卓球、柔道、ローイング など
- 生活・食・環境系 料理、お菓子作り、動物、自然環境 など

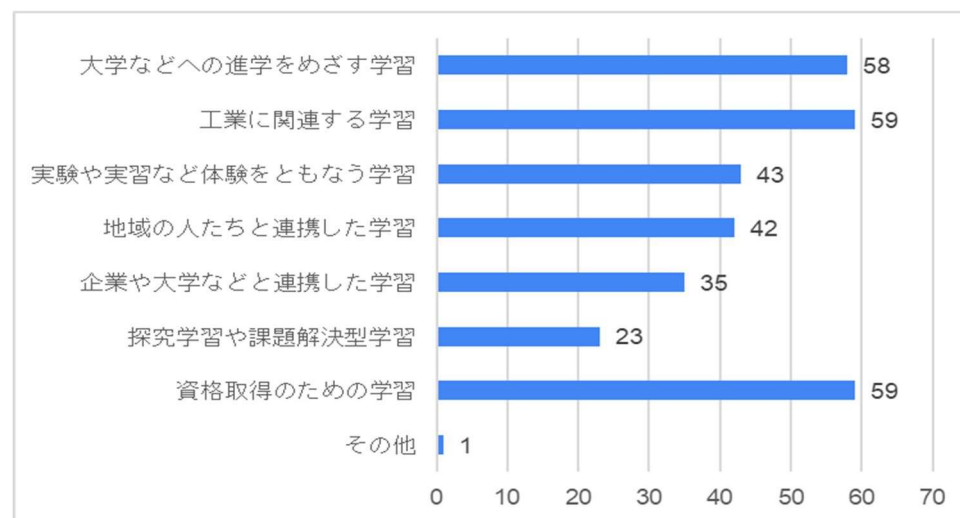


学習内容について充実させてほしいこと (選択式・複数回答可)

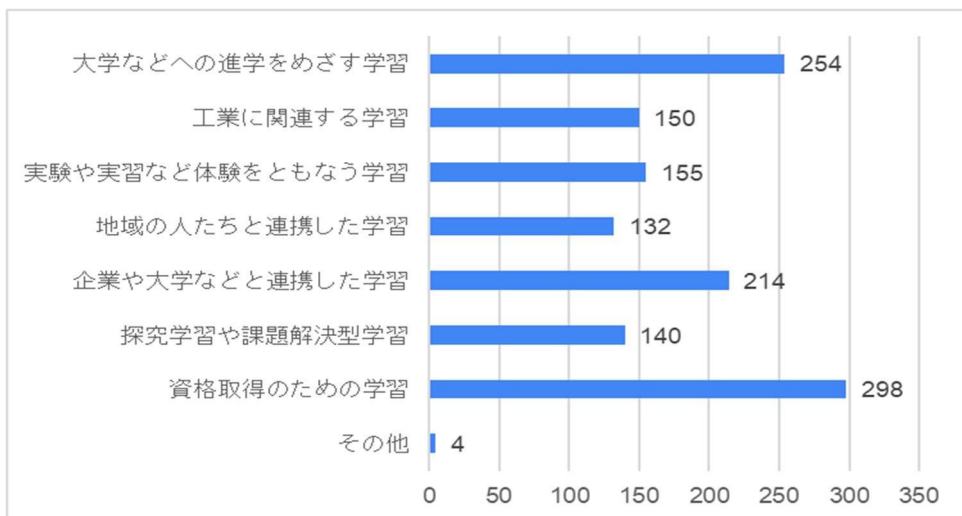
【中学生・中学部生】



【高校生・高等部生】



【保護者】



県教育委員会のコメント

新設校には、普通科、新しい普通科、工業科（機械・電気系、建築都市工学系）を設置することが決まっています。普通科系学科と工業科の両方がある高校は島根県では初めてです。

2つの学科が設置してあるメリットを活かすことも含めた教育内容の詳細については、『新設校開校準備委員会』において検討中です。

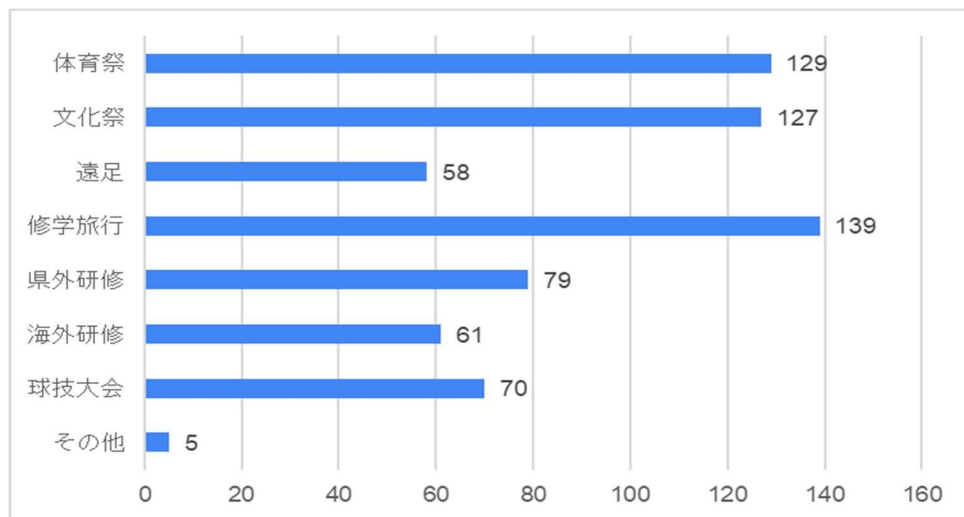
今回のアンケート結果において、「資格取得のための学習」や「大学などへの進学をめざす学習」の回答が多かったことも参考にして、引き続き検討を進めていきます。

その他：スポーツ、進学と就職の各々に特化、パソコン技術 など

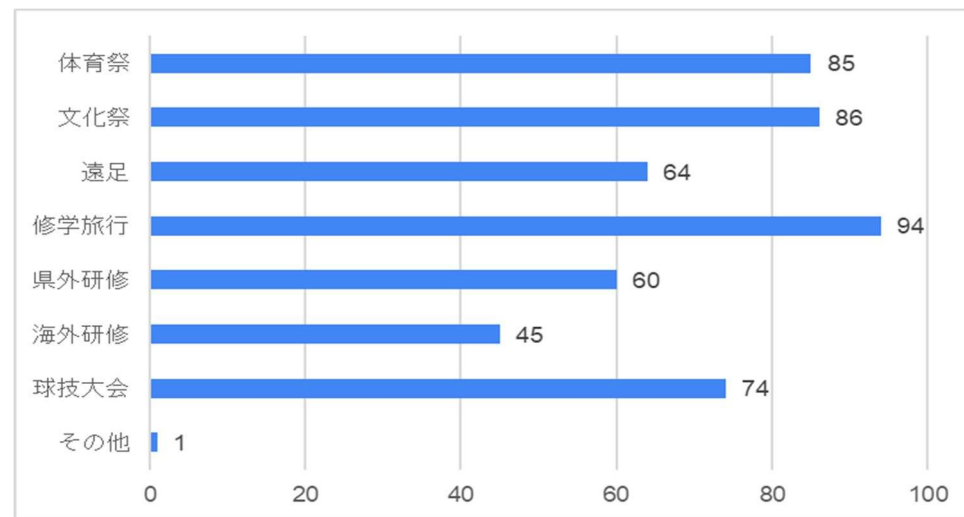


必要だと思う学校行事 (選択式・複数回答可)

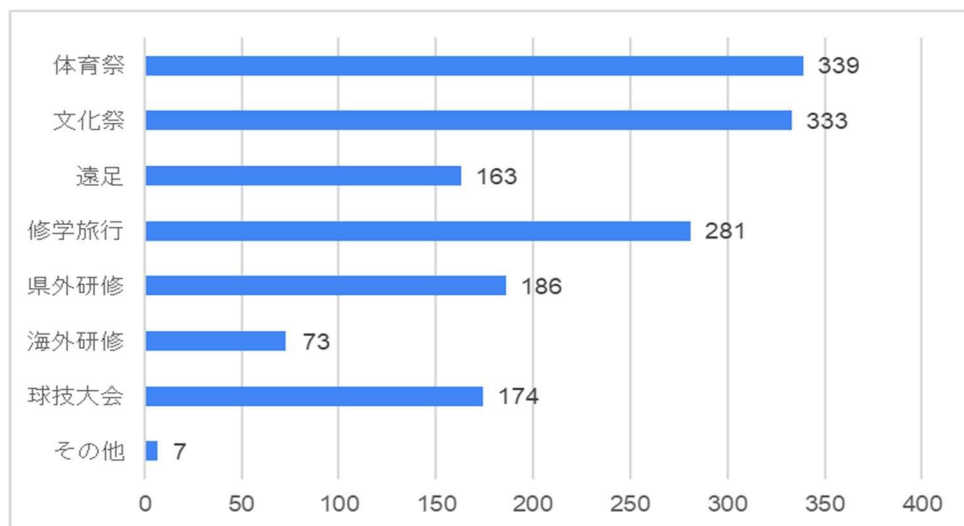
【中学生・中学部生】



【高校生・高等部生】



【保護者】 (選択式・複数回答可)



県教育委員会のコメント

新設校の開校は令和10年4月ですが、それまでの期間において江津高校と江津工業高校で円滑な統合に向けた取組を行います。
 例えば令和7年9月に開催された江津高校の学園祭に江津工業高校の1年生が参加しました。
 学校行事については、『新設校開校準備委員会』において検討中です。
 今回のアンケート結果において、「修学旅行」、「体育祭」、「文化祭」の回答が多かったことも参考にして、引き続き検討を進めていきます。

その他：ボランティア活動、登山、学習会、成果発表会 など



あったらよいと思う部活動 (現在江津高校または江津工業高校に設置している下記の部活動以外)

〈運動部〉 硬式野球、バレーボール、バスケットボール、ハンドボール、ソフトテニス、弓道、ボート、水球
 〈文化部〉 吹奏楽、音楽、美術、茶道、書道、写真、生活科学、地域活性、神楽、ものづくり

※ 自由記述式、**中**は中学生・中学部生、**高**は高校生・高等部生、**保**は保護者からの回答

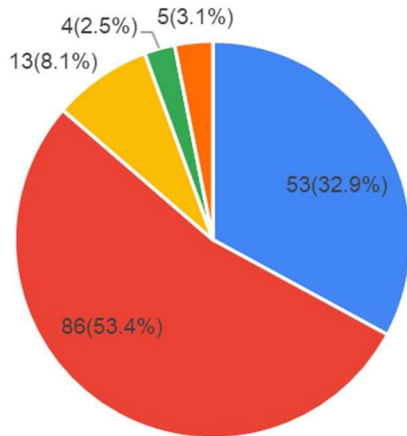
※ 回答数上位5位までを記載(6位以下の主なものはその他に記載)

〈運動部〉 **中** 卓球、バドミントン、サッカー、陸上、剣道
高 サッカー、バドミントン、陸上、ダンス、柔道
保 サッカー、陸上、剣道、卓球、バドミントン
 その他： 軟式野球、硬式テニス、ラグビー、アーチェリー、空手、水泳、ゴルフ、ソフトボール、少林寺拳法、体操、登山 など

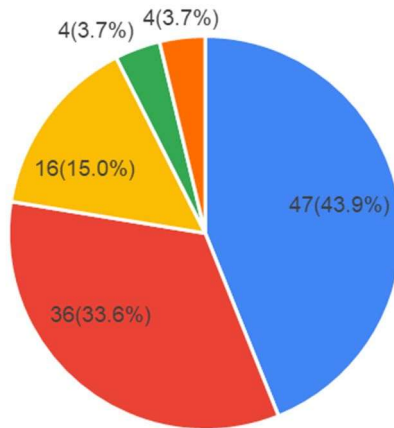
〈文化部〉 **中** eスポーツ、軽音楽、イラスト、文芸、新聞
高 eスポーツ、調理、軽音楽、ユーチューブ
保 eスポーツ、パソコン・プログラミング、放送・動画編集、ボランティア、調理
 その他： 演劇部、英会話・ESS・語学サークル、競技かるた、将棋、鉄道研究、陶芸 など

ふさわしい活動日数

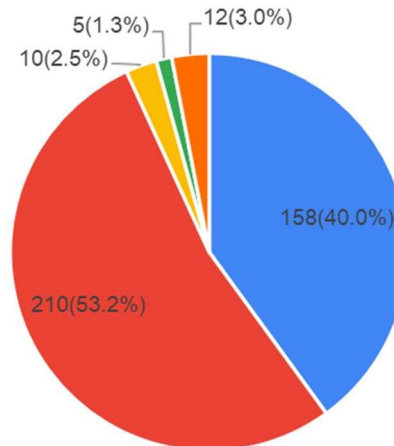
【中学生・中学部生】



【高校生・高等部生】



【保護者】



その他：不定期、各部の方針でよい など



県教育委員会のコメント

- ・ 現在、江津高校と江津工業高校に設置している部活動については、新設校開校後も引き続き活動します。
- ・ 令和10・11年度は、江津高校、江津工業高校、新設校の3校又は2校での合同チームによる大会参加が可能となります。(引き続き単独での出場も可能です。)
- ・ 江津高校と江津工業高校が合同で部活動を行うことなどを想定して、令和8年4月よりマイクロバスが運行しています。
- ・ 部活動については、引き続き『新設校開校準備委員会』において検討を進めていきます。



「みんなが通いたくなる学校」および「そのために必要なこと」(自由記述式)

【小学生・小学部生】

※「そのために必要なこと」は の中に記載

■ いじめや差別がない

いじめがなくて安心できる、全校が仲良し、皆で協力して学習したり物事を進めたりすることができる など

いじめや差別をなくす、ルールを守る、先生が寄り添ったり相談したりできる環境をつくる、誰にでも同じように接する、いじめをしていたら注意する、一人一人の個性をみとめ合って差別しない、仲を深める活動をする など

■ 楽しく学べる・明るい雰囲気

みんなが楽しく過ごせる、みんなが勉強を楽しめる、仲良く明るい雰囲気 など

何人かが分かったら次に進むのではなく児童全員が分かるまで教える、日々みんなが明るく過ごす、先生が優しい、みんなが優しく対応する など

■ 教室・校舎・トイレがきれい

教室やトイレがきれい、校舎がきれいで快適 など

きちんとそうじをする、古いところを修理する、清掃業者に掃除をしてもらう、床をきれいにする、きれいなトイレを作る、衛生面を考える など

■ 体をたくさん動かすことができる

体を動かす時間と場所がたくさんある、体育の授業がたくさんある など

室内練習場を作る、プールや体育館をもっと広くする、体を動かす勉強が沢山ある、体育の時間を増やす、体育の先生を増やす など

■ 修学旅行がある

修学旅行が(2回以上)ある、修学旅行で海外に行ける など

■ 実験・工作・体験学習ができる

実験がたくさんできる、実験、図画工作、家庭科学習の時間がたくさんある、いろいろな体験・経験ができる など

実験器具をたくさん買う、みんなで協力して実験や体を動かす時間を作る など

■ 自由が多い

私服で行ける、服装が自由、髪色・髪型自由、校則がない、理不尽な先生がいない、話が通じない先生がいない など

好きなことができるように校則を変える、優しい先生を募集する、自分のペースで授業を選べる など



■ 施設・設備が充実している

室内プール（水深2メートル以上）・サッカー場・食堂・自動販売機・売店・自動で水が流れるトイレ・エレベーター・射撃場がある、校庭が人工芝 など

■ デジタル・Wi-Fi・授業内容が充実している

タブレットなどの機器を使う学習が多い、フリーWi-Fiがある、AIを使う、ゲームに関する授業を取り入れる など

コンピューターを導入する、専門の先生に来てもらう、eスポーツ専用機器の持ち込みを認める など

■ 宿題が少なく生活時程にゆとりがある

宿題が少ない、毎日5時間授業、帰る時間が早い、休み時間がたくさんある など

ゆっくりした時間がないと勉強したことが頭に入らないと思うから、読書をする時間を作る、昼休みを長くする、勉強をしっかりやって遊べる時間を増やす、勉強するときと遊ぶときのメリハリをつける など

■ 地域・社会とのかかわりがある

地域の人と一緒に学べる、地域との関わりが積極的、地域の人から信頼される、みんなで協力する、挨拶ができる など

地域の人たちと交流する、地域の人も子どももわからないところと一緒に学ぶ、地域の人たちの仕事について知る など

■ 成長や目標達成ができる

自分の夢に向かって学べる、自分のペースで頑張れる、みんなが目標を持ち好きなことを楽しく学べる、学びたい分野を専門的に学べる、社会で役に立つスキルを身につける、楽しく学べて成績が良くなる、人それぞれの学び方がある など

勉強をたくさんして目標を立てる、小中学校での勉強力、自分の頑張る力を育てる仕組み、一日一日を大切にする など

■ その他

平和で安全な学校、けがをしても過ごしやすい学校、歴史のある学校、見て見ぬふりをしない学校 など

災害に備える、先生が自分の話もしてくれる、市の協力、お金、土地 など

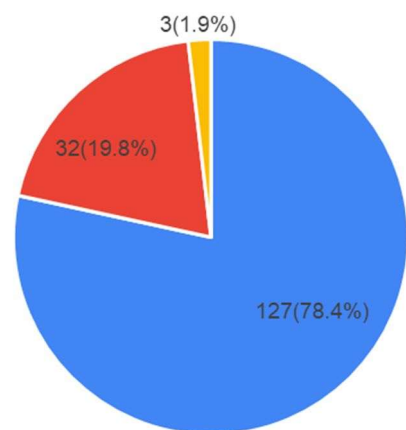
県教育委員会のコメント

- 誰もがいじめや差別なく安心して過ごせること、そして「わかった！」と笑顔になれる授業や、最新のデジタル技術や本物にふれる体験的な学びがあることは、みなさんの未来を切り拓く大きなエネルギーになります。
- 地域の方々と一緒に活動したり、自分たちの意見を尊重して自由な校風を築いたりすることは、魅力的な学校の姿です。
- きれいな施設や新しい設備、ゆとりのある生活時程など、すべての願いをすぐに形にすることは簡単ではありませんが、皆さんからの貴重な意見を、今後の学校づくりの参考にさせていただきます。
- これからもたくさんの人たちの意見を聞いて、誰もが自分らしく夢に挑戦できる学校をつくっていきたいと考えています。

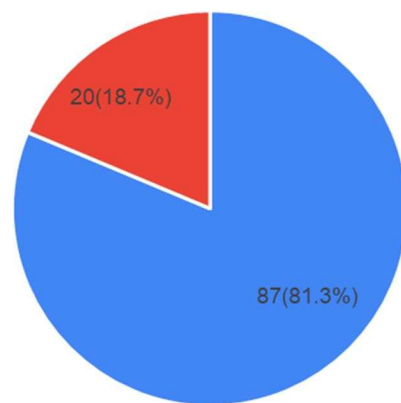


制服の必要性 (選択式)

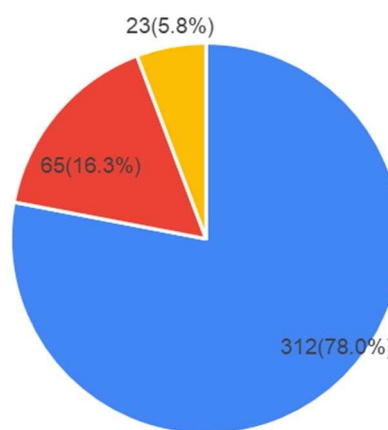
【中学生・中学部生】



【高校生・高等部生】



【保護者】



必要である	必要でない	その他

その他：どちらでもよい、制服か私服かを選べるようにする など

よいと思う制服 (自由記述式、中は中学生・中学部生、高は高校生・高等部生、保は保護者からの回答)

■ 多様性への対応

中 ズボンかスカートを選べる、ネクタイかリボンを選べる、男女同じ など

高 男女同じ、長袖長ズボン、全員共通でブレザー（ズボンかスカートを選べる）、多様性に配慮する など

保 ジェンダーに配慮したブレザータイプ、性別に関係なく選択できる、男女問わず着られるユニセックスなデザイン、男女同じ、多様性に対応できる、男女共にブレザー など

■ 家庭でのケアと機能性

中 体操服のように動きやすい、軽い素材を使う、洗しやすい、洗濯機で洗える、乾きやすい、シャツはポロシャツ、生地で通気性がよくアイロンの必要がないもの など

高 動きやすく破れにくい素材、学ラン以外 など

保 洗いやすく乾きやすい、動きやすい、手入れが楽、自宅で洗濯可能な素材、アイロンが不要なポロシャツ、洗濯機で洗ってもシワにならないブレザー、伸縮性があり汚れが落ちやすい、丈夫で清潔感がある、着替えずに体育の授業ができる など

■ 気候への柔軟な適応

中 どの季節でも過ごしやすい、風通しが良い、ブレザーだと簡単に着脱ができて体調管理がしやすい、シャツはポロシャツ生地で通気性が良くアイロンの必要がない など

保 寒さ・暑さを調整できる、タイツも選択できる、寒暖差に対応しやすい素材、ブレザーなど寒暖に合わせて調節しやすい、夏はポロシャツ（3色くらいの中から選んで着る） など



■ 洗練されたデザイン

【中】ブレザー、学ラン、セーラー服、スーツに近いもの、スカート（チェック、紺のチェック、灰色）、白いブレザー、蝶ネクタイ、紐で長さが調節できるリボン、チェックのズボン など

【高】茶色いブレザー、ピンクのチェックスカート、赤いニットベスト、選べるリボン、シンプルすぎないデザイン など

【保】生徒が着たいと思えるようなブレザー、江津工業高校のネクタイ、どこの学校か分かる特徴的なもの、一般的な学生服とセーラー服、おしゃれなもの、華美でないもの、江津高校のブレザー、チェック柄のスカートでベージュのジャケット、中学校とは違うデザイン、清潔感がある など

■ 経済的負担の軽減

【中】安価なもの（シンプルなデザイン、普通の制服）、全員同じ、中学校と同じ、あまり目立たなく、シンプルな色、値段が男女ともに全く同じ など

【高】今までと同じ制服（変えない）、江津高校または江津工業高校の制服に統一する など

【保】低価格、中学校で使用していた制服のボタンのみを変える、高額にならず華美でないもの、高くもなく安くもなく学生らしいもの、校章等の入っていない学ラン（どこでも購入可能）、中学生のときに着ていたもの、有名デザイナーの制服は金額が高くなるばかりなので困る、上着だけ統一してポロシャツ・スカート・ズボンは自由 など

■ 着こなし・運用の自由化

【中】制服以外の着用も認める（靴下・カッターシャツ・カーディガン等）、学年によってリボンやネクタイの色が違う など

【高】自分でリボン・ネクタイ・制服の色を選べる、靴下自由、いろいろな着方ができるブレザー など

【保】自由度がある（カッターシャツはポロシャツでもいい、色のみ指定で各自購入可能など）、生徒会に一任する、上着やズボンは指定するが中に着るものは自由、カッターシャツ、ブラウスを自分で選べる、夏はポロシャツも認める、靴下は学校指定にしない（色のみ指定）、生徒がオプションを選択できる、生徒たちが着用ルールなどを決める など

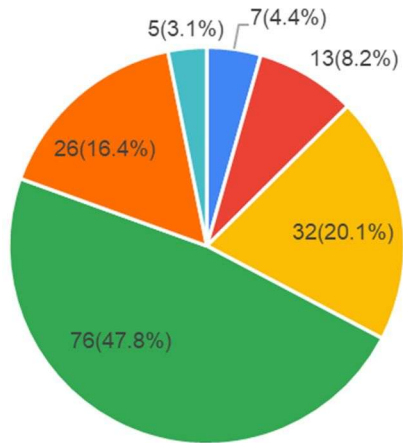
県教育委員会のコメント

- ・ 制服については、令和8年度に『制服検討委員会』（仮称）を設置して検討を進める予定です。
- ・ 『制服検討委員会』には大人だけではなく、江津高校、江津工業高校、近隣中学校の生徒もメンバーに入り、一緒に考えてもらうことも想定しています。
- ・ 今回のアンケート結果において、「多様性の尊重」、「機能性と利便性」「家計への配慮」に関する回答が多かったことも参考にして検討を進めていきます。
- ・ 『制服検討委員会』設置後に改めて制服に関するアンケートを実施予定です。
- ・ 令和9年4月頃に新制服を発表する予定です。

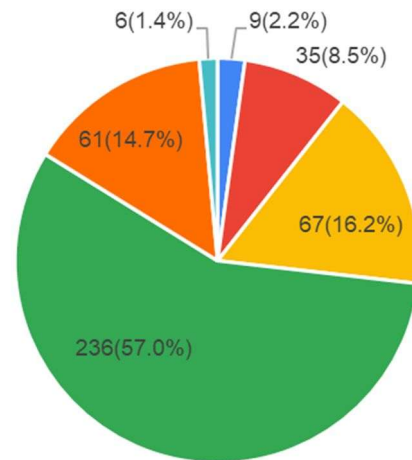


自宅から新設校に通う場合の交通手段 (選択式)

【中学生・中学部生】



【保護者】



徒歩	自転車	バス	電車	保護者による送迎	その他

その他：未定、バスと電車 など

通学に関する意見・要望 (自由記述式、は中学生・中学部生、は保護者からの回答)

■ スクールバス・公共交通機関への要望

- 専用のスクールバスの運行 など
- (浜田市、大田市、邑南町、益田市) までスクールバスが出れば志望校候補になる、スクールバスは必須 朝と夕方は電車の本数を増やす など

■ 通学費・経済的支援

- 電車通学になるので補助がほしい、通学料金の無償化 など
- 交通費の免除・補助、定期券の補助・無料配布 など

■ 距離・利便性・環境への要望

- 寮を建てる、学校の自転車小屋を整備する など
- 有料でもいいので市外へスクールバス運行、学生寮の充実、JRの駅から無料の通学バスを運行 など

■ 時間帯・連絡体制

- 帰りが遅くなるのが不安、朝起きられるか不安 など
- 公共交通機関の時間に合った生活時程の設定 (テスト期間も)、電車やバスの待ち時間が長い、鉄道が運休等になった際にオンライン授業を受けることが可能になるとよい など

■ 安全・ルール・課題

- 危ない道や行ってはいけない道を決めておく など
- 自転車の乗り方 (ヘルメット着用含む) について警察と連携して指導する、電車内で騒がないことや友達同士でのスマホ撮影の禁止を徹底する など

■ 質問

- 浜田市からの汽車通学は、江津工業は補助が出るが江津高校は普通科のため補助が出ません。普通科と工業科が新設された場合は、工業科のみ補助が出るのでしょうか？

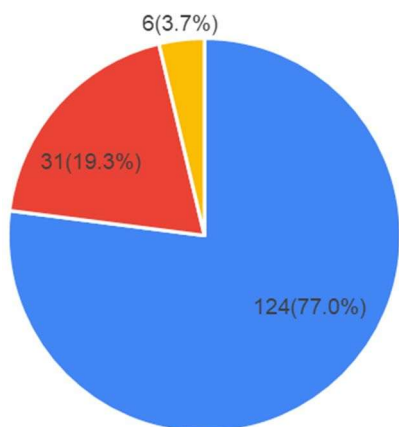


県教育委員会のコメント

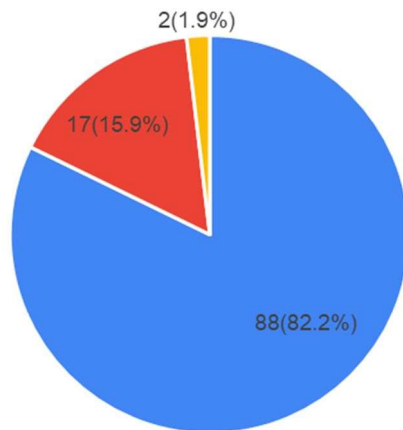
- スクールバスの運行に関する意見が多数ありましたが、県教育委員会としては、多くの生徒が自転車や公共交通機関を利用している現時点では、送迎バスの運行を行う予定はありません。(町がスクールバスを運行している例は県内にもあります。)
- 寮に関する意見も複数ありましたが、江津工業高校には寄宿舍『桑蓬寮(そうほうりょう)』があり、江津高校と共同利用しています。現在は男子生徒のみが入寮可能ですが、令和8年度には女子生徒も利用できるための改修工事を行い、令和9年度より使えます。
- 汽車通学の補助の質問については、浜田市では令和8年度から制度が変わり、普通科も補助の対象になります。本制度の詳細については各自治体にお問合せください。
- 公共交通機関の時間に合った生活時程の設定、オンライン授業の活用、ルール・マナーの徹底等については、『新設校開校準備委員会』において検討を進めていきます。

校則の必要性 (選択式)

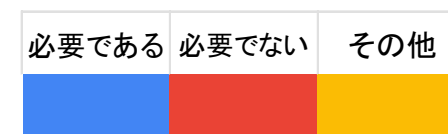
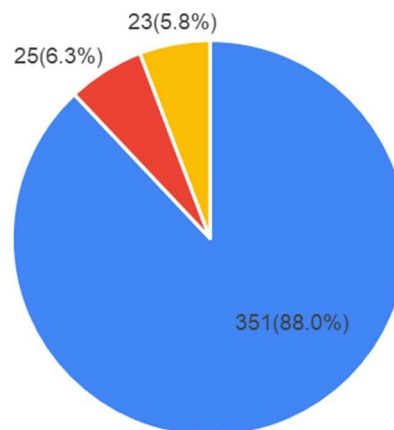
【中学生・中学部生】



【高校生・高等部生】



【保護者】



その他：ある程度は必要、厳しいものでなければ必要、基本的なものは必要 など

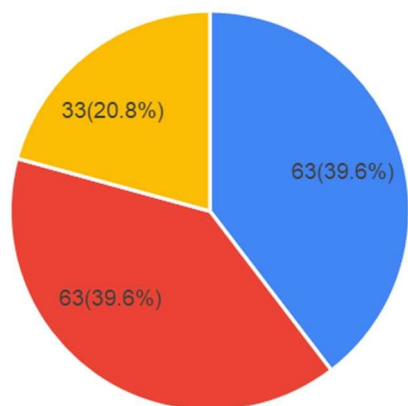
県教育委員会のコメント

- 校則については『新設校開校準備委員会』において検討を進める予定です。
- 今回のアンケートにおいて「校則は必要である」という回答が多かったことも参考にします。
- 大人だけではなく、江津高校、江津工業高校、近隣中学校の生徒に校則について一緒に考えてもらうことも想定しています。

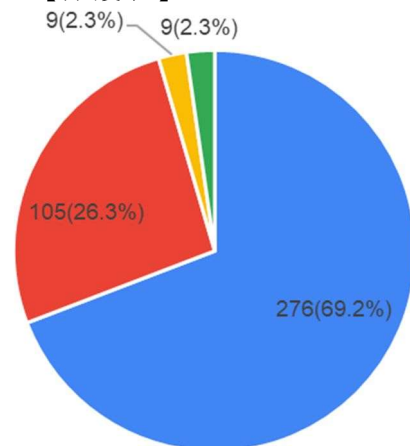


給食の希望 (選択式)

【中学生・中学部生】



【保護者】



希望する	金額によっては希望する	希望しない	その他

その他：希望した日のみ給食を食べられるとよい、食堂や売店が充実していれば希望しない など

県教育委員会のコメント

- ・ 現在、県内公立全日制高校で給食を提供している高校はありません。(他県では給食を提供している高校が若干数あります)
- ・ 配送方法、必要食数の把握方法、アレルギー対応、費用負担など課題がたくさんあります。
- ・ 給食については、今回のアンケート結果も参考にして「新設校開校準備委員会」において提供可能性も含めて検討します。



新設校に期待すること (自由記述式、**中**は中学生・中学部生、**高**は高校生・高等部生、**保**は保護者からの回答)

■ 学習・進路・資格

中 学力をつける、学びたいことにとことん取り組める、偏差値が高い、大学に進学できる、習熟度別クラスがある、宿題が無い、進路が幅広く選べる、高校で看護や保育の資格を取れる、英語学習に力を入れる など

高 文武両道ができる、テスト期間の撤廃、テスト期間の設置、学習しやすい環境 など

保 進学にも就職にも有効なバリエーションのある学習内容、他の公立高校にない授業や資格取得、時代に合った学習、時代のニーズ・先取りも考えながら多様な進路に対応できる、AIを取り入れた学習、普通科と工業科の良いところを活かす、即戦力人材の育成、IBの導入、単位制で一人ひとりの個性に合わせて授業を決められる、大学特進コースの設置、近隣の公立普通科高校と遜色ない学習スキルの確保、資格試験や自動車免許取得を積極的に行う、学科変更(工業科⇄普通科)を認める、Webデザイン・プログラミング・MOS等の即戦力カリキュラム、子どもの夢を実現するために必要なカリキュラム など

県教育委員会のコメント

- アンケート結果において、「学力向上や進学への対応」、「資格取得」、「最先端スキルの習得」、「柔軟な学習環境」、「進路選択の自由度」に関する意見が多かったことを踏まえ、個性や適性に応じた「多様な学び」を保障するとともに、地域や企業と連携した地域との協働体制の充実やICTの活用、特色ある学科・コースの設置などについて検討を進めていきます。
 - 学習ニーズに応じた個別最適な学びを推進するために、単位制を導入します。
- ※ 文部科学省ホームページにおいて、単位制について掲載しています。右のQRコードからアクセスできます。



https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/kaikaku/seido/04033102.htm

■ 校則・身だしなみ・自由度

中 緩すぎず厳しすぎない校則を作る、髪色・髪型自由、メイク・ネイルOKにするなど髪や身だしなみに関する校則を緩くする、席替えを毎月実施する、スマホを許可する、スマホを許可しない など

高 校則を緩くする、スマホの使用制限を緩くする、校則をなくす、県外高校を参考にして理不尽でない校則を作る など

保 校則に縛られない時代にあった学校づくり、規則や規律を守る生徒の育成、規律があり生徒が夢や目標に向かって安心して切磋琢磨できる、集団でのマナーを身につける、全国に類を見ない自由な校風、安全を守るためのスマホ所持を認める など

県教育委員会のコメント

- アンケート結果において、「校則の緩和」、「身だしなみの自由化」、「スマートフォンの利用ルールの見直し」、「規律ある環境」、「マナーの習得」に関する意見が多かったことを踏まえ、生徒の主体性が発揮される学校運営や、時代に即した理不尽のないルール作り、そして生徒が安心して夢に向かって切磋琢磨できるように検討を進めていきます。
- 校則について検討する際には、大人だけではなく、江津高校、江津工業高校、近隣中学校の生徒と一緒に考えてもらうことも想定しています。

■ 部活動

中 専門の指導者がいる、文武両道を目指せる、強豪校と言われるようなレベルの高い活動ができる、礼儀を身につけることができる、筋力トレーニングの器具の充実 など

高 部活動をたくさん作る、他校ではできないことができるなど

保 陸上部があれば受験も視野に入れる、野球部を強くするような動きをかける、男女関係なく入れる部活を増やす、専門の指導者を外部から入れて指導者があまり変わらない、部として認められていない競技に取り組む生徒に対する支援がある など

県教育委員会のコメント

- アンケート結果において、「専門の指導者による質の高い活動」、「トレーニング環境の充実」、「多様な種目への対応」、「文武両道の実現」に関する意見が多かったことを踏まえ、地域資源や外部人材を積極的に活用する「地域協働」の枠組みや生徒一人ひとりの個性や意欲に応じた多様な部活動のあり方などについて検討を進めていきます。
- 5ページのアンケートにも設置してほしい部活動に関する意見がありましたが、教員数、顧問配置、安全管理、教員の働き方改革など課題もたくさんありますので、それらも含めて充実した部活動となるように検討を進めていきます。

■ 施設・設備・環境

- 中** 新しい校舎、教室が広い、学校がおしゃれ、体育館に暖房をつける、放課後塾の設置、生き物を飼う など
- 高** 学食の設置、大きな体育館の設置、校内にコンビニエンスストアを設置 など
- 保** 校舎や体育館等の空調設備の整備、放課後も自由に使える学習スペース、食堂や購買の設置、給食の提供、寮の設置、防犯カメラの設置、今ある建物や設備を活かして無駄な施設や設備を作らない、老朽化した箇所の修繕を行って快適な学習環境を整える、防災機能の充実 など

県教育委員会のコメント

- アンケート結果において、「校舎の老朽化対策」、「空調設備の整備」、「自習スペースや食堂・購買の充実」、「防災・防犯機能の強化」に関する意見が多かったことを踏まえ、今ある施設を有効に活用しながら、生徒が安全・安心かつ快適に学校生活を送ることができるように「質の高い教育環境」の確保などについて検討を進めていきます。

■ 学校の雰囲気・人間関係・地域連携・アルバイト

- 中** 誰もが通いやすい、全員が楽しく過ごせる、生徒の個性を尊重した温かい雰囲気、差別・いじめ・喧嘩がなくみんな仲がいい、先生と生徒がコミュニケーションをしっかりとる、悩みを相談しやすい環境、地域の人と触れ合える、地域への貢献が多い アルバイトができる など
- 高** 生徒同士の関わりを増やす、生徒を甘やかさない、悩みや相談をある程度受け入れる、実習や学校行事を大切にする、生徒の意見を尊重する など
- 保** 江津ならではの豊かな経験ができる、工業科・普通科ともに分け隔てなく子供が伸び伸びと学校生活を送ることができる、将来島根県内で暮らしたいと思えるような授業・体験ができる、オープンキャンパスを行うなど開かれたイメージを大切にす、生徒の未来の選択肢が増える、生徒同士が上下関係無く交流があり活気がある、生徒が自立できるような教育方針、それぞれの科・コースを認め合っって一体感がある、海外文化・ジェンダーレス・人権などにも配慮・対応した未来が明るくなる学校、石見地区にない新しい風を吹かす、新たな選択肢を増やせる、不登校などいろいろな生徒を受け入れる、誰もが通いやすい、楽しく通える、生き生きとした学生生活ができる、自主性を育む教育方針、生徒が主体、地域産業と連携をとる、いじめや暴力がない、小中学校との連携や地域の魅力を発見する取組によって将来の地域人財を育成する、先生と保護者が情報共有を密に行う、若い先生や生徒に目線を合わせて寄り添ってくれる先生がいる、支援学級の子供も通えるよう合理的な配慮を積極的に行う、通級学級がある、社会勉強として無理のない範囲でのアルバイトの許可 など

県教育委員会のコメント

- アンケート結果において、「いじめのない温かい雰囲気」、「生徒の個性の尊重」、「不登校や障がいのある生徒への合理的配慮」、「地域社会との関わり」に関する意見が多かったことを踏まえ、誰もが安心して楽しく通え、地域の人材や資源を教育に活かす「地域との協働体制の充実」、生徒の主体性や自立心を育む「開かれた学校運営」のあり方などについて検討を進めていきます。

■ 行事・伝統・運営

保 統合される2校の伝統がなるべく残る形にする、江津工業で行われていたイベントは残す、新しい校歌には江津高校の校歌の歌詞を盛り込む、校内レガッタを継続する、定期テスト無しで単元テストの形を継続する、工業で実施している単元終了毎に試験を実施し振り返りシートを渡す取組は継続する、校名を変えて新しいイメージを醸成する、生徒数減少を見据えた学校運営をする など

県教育委員会のコメント

- アンケート結果において、「両校が築いてきた伝統や行事の継承」、「単元テスト形式の継続」、「新しい校名によるイメージ刷新」、「将来の生徒数減少を見据えた学校運営」に関する意見が多かったことを踏まえ、既存の教育資源を最大限に活かしながら、「生徒自らが選び、学び、夢を叶える高校づくり」をめざして検討を進めていきます。
- 新設校の校名については公募することも含めて検討中です。

■ 質問

中 設校開校前に江津工業高校に入学した場合、新設校に入学した人とは全く別の学習をするのか？

保 新設校に入学した場合、最初の1、2年の部活動がどうなるか不安（江津高校、江津工業と合同なのか、単独なのか）

県教育委員会のコメント

- 令和9年度までに江津工業高校に入学した人と、令和10年度以降に新設校に入学した人では、教育課程（いつ、何を学ぶか）が異なる可能性があります。
しかしながら、工業科であることに変わりはありませんので、全く別の学習をするのではなく、どちらの高校でも専門性を身につけることのできるカリキュラムを検討しています。
詳細については学校のホームページ等でご確認ください。
- 令和10・11年度は、江津高校、江津工業高校、新設校の3校又は2校での合同チームによる大会参加が可能となります。（引き続き単独での出場も可能です。）
- その時点の部員数や生徒の希望等に応じて、どのような形で活動したり大会参加をしたりするかを判断することになると想定されます。

アンケートにご協力いただきありがとうございました。

- 今回のアンケートおよび結果等について、ご質問等がございましたら以下へお問合せください。

問合せ先：島根県教育庁学校企画課 県立学校改革推進室

☎ 0852-22-6760（直通）

- 島根県教育委員会のホームページにおいて、江津地域における新設校の情報を掲載しています。

右のQRコードからアクセスできます。

<https://www.pref.shimane.lg.jp/gakkokikaku/goutsu/>



<参考> 実際の質問

- ・ 現在習っている教科の中で中学生や高校生になって、深く学んでみたいものを選んでください。いくつ選んでもよいです。【小・中】
- ・ あなたが興味や関心をもっていることがあれば書いてください。【中】
- ・ 新設校において、学習内容について充実させてほしいことを選んでください。いくつ選んでもよいです。【中・高・保】
- ・ 新設校において、必要だと思う学校行事を選んでください。いくつ選んでもよいです。【中・高・保】
- ・ 新設校において、以下に挙げている部活動以外で、あるとよいと思う部活動を書いてください。いくつ書いてもよいです。【中・高・保】
- ・ みなさんが通いたくなる学校は、どんな学校だと思いますか。【小】
→ そのような学校にするためには、どんなことが必要だと思いますか。
- ・ 新設校において、制服は必要だと思いますか。【中・高・保】
→ どんな制服がよいと思うか書いてください。
- ・ 自宅から新設校に通う場合、どのような手段になりますか。主なものを1つを選んでください。【中・保】
- ・ 新設校に通う場合、通学に関して意見や要望があれば書いてください。【中・保】
- ・ 新設校において、校則は必要だと思いますか。【中・高・保】
- ・ 新設校において、給食が提供される場合、希望しますか。1つを選んでください。【中・保】
- ・ 新設校に期待することや望むことがあれば自由に書いてください。【中・高・保】

※ 「小」は小学生・小学部生 「中」は中学生・中学部生
「高」は高校生・高等部生 「保」は保護者



令和8年3月高等学校卒業者の進路状況について
(県立、市立及び私立の全日制並びに県立の定時制)

1 進路状況の年度別推移

各年度3月末日現在

年度	卒業 者数	進学		就職	就職		進学 就職計	進学 就職計		未定	
		県内	県外		県内	県外		県内	県外		
R5	5,253人	3,896人 (74.2%)	1,146人 29.4%	2,750人 70.6%	1,084人 (20.6%)	880人 81.2%	204人 18.8%	4,980人	2,026人 40.7%	2,954人 59.3%	243人 進学218人 就職25人
R6	5,395人	4,006人 (74.3%)	1,196人 29.9%	2,810人 70.1%	1,090人 (20.2%)	830人 76.1%	260人 23.9%	5,096人	2,026人 39.8%	3,070人 60.2%	273人 進学238人 就職35人
R7	5,341人	3,927人 (73.5%)	1,112人 28.3%	2,815人 71.7%	1,076人 (20.1%)	822人 76.4%	254人 23.6%	5,003人	1,934人 38.7%	3,069人 61.3%	296人 進学260人 就職36人

※諸事情による未定者は除く

2 進学状況

() 内の数値は令和7年3月末日の数値

進学区分		人数			割合		
		県内	県外	合計	県内	県外	全体
四年制大学	国公立	482 (510)	585 (599)	1,067 (1,109)	45.2% (46.0%)	54.8% (54.0%)	27.2% (27.7%)
	私立		1,482 (1,506)	1,482 (1,506)		100.0% (100.0%)	37.7% (37.6%)
	計	482 (510)	2,067 (2,105)	2,549 (2,615)	18.9% (19.5%)	81.1% (80.5%)	64.9% (65.3%)
短期大学	国公立	67 (71)	9 (6)	76 (77)	88.2% (92.2%)	11.8% (7.8%)	1.9% (1.9%)
	私立	15 (17)	78 (102)	93 (119)	16.1% (14.3%)	83.9% (85.7%)	2.4% (3.0%)
	計	82 (88)	87 (108)	169 (196)	48.5% (44.9%)	51.5% (55.1%)	4.3% (4.9%)
専修学校		455 (508)	639 (581)	1,094 (1,089)	41.6% (46.6%)	58.4% (53.4%)	27.9% (27.2%)
その他(高専編入・留学・公共 職業能力開発施設)		93 (90)	22 (16)	115 (106)	80.9% (84.9%)	19.1% (15.1%)	2.9% (2.6%)
合計		1,112 (1,196)	2,815 (2,810)	3,927 (4,006)	28.3% (29.9%)	71.7% (70.1%)	100.0% (100.0%)

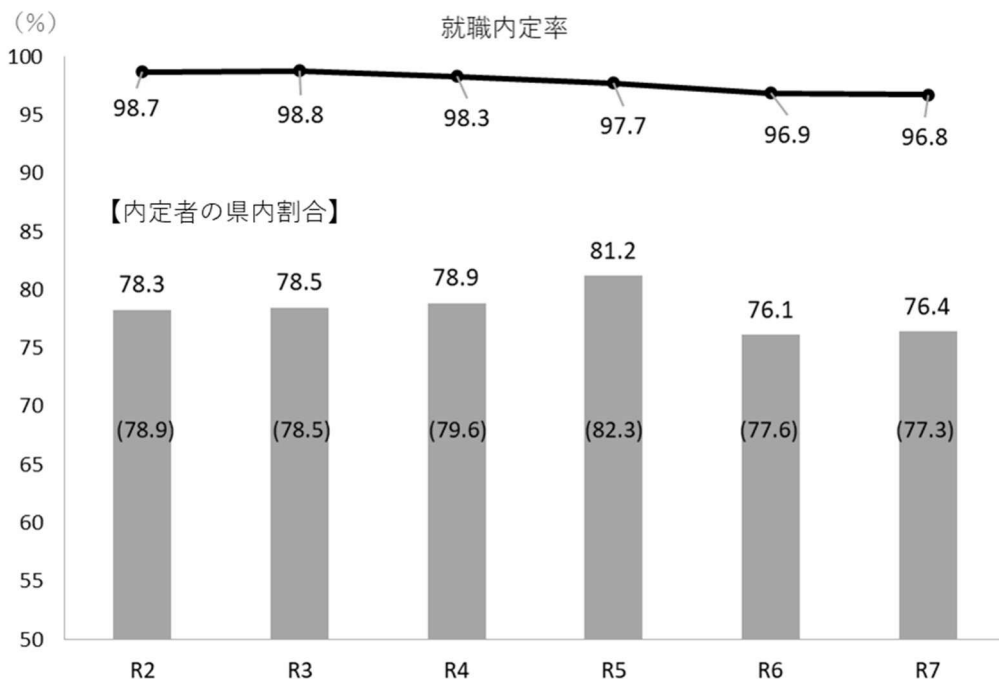
3 就職の状況

各年度3月末日現在

年度	卒業者数	就職希望者数(人)			就職希望者の割合	就職内定者数(人)			内定率	未内定者数(人)
		県内	県外	小計		県内	県外	小計		
R5	5,253	899	210	1,109	21.1%	880	204	1,084	97.7%	25
R6	5,395	861	264	1,125	20.9%	830	260	1,090	96.9%	35
R7	5,341	862	250	1,112	20.8%	822	254	1,076	96.8%	36

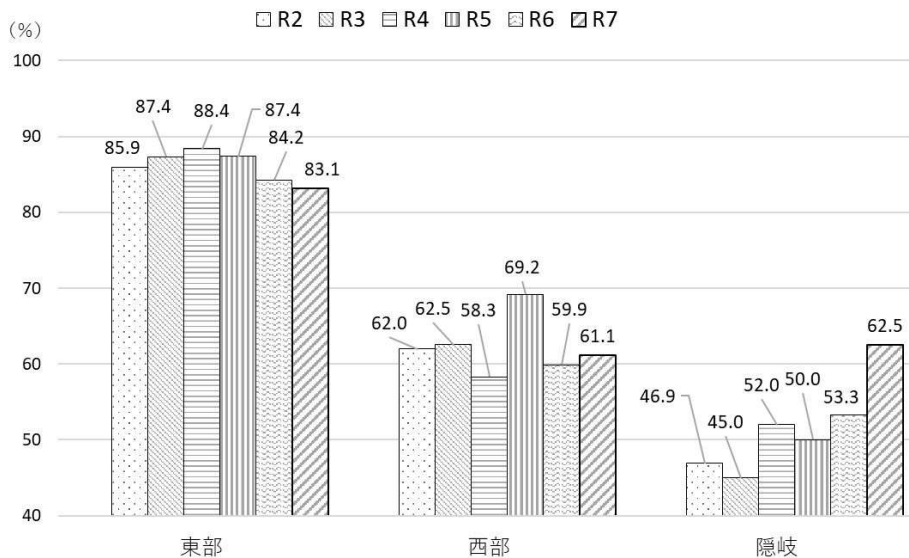
【参考】

1 就職内定率等の推移



() の数値は公立高校の内定者の県内割合

2 高校所在地域別内定者の県内割合推移



(R 8年3月卒業者高校所在地域別県内内定者数)

東部 620人(対前年±0人)

西部 187人(対前年△7人)

隠岐 15人(対前年△1人)

令和8年3月特別支援学校高等部卒業者の進路状況について(令和8年3月31日現在)

(単位:人、%)

(単位:人)

年度	卒業 者数	進学			職業訓練	就職	障がい福祉サービス等						障がい 児 施設	入院	未定	卒業時未定者 R8.3.31現在の状況				
		特別 支援 学校 専攻科	大学・ 短大	各種 学校 (専門 学校 等)	高等 技術校 他	企業等	就労 継続 支援 A型	就労 継続 支援 B型	就労 移行 支援	自立 訓練 (機能訓 練・生活 訓練)	生活 介護	その他				進学	就職	*福 サ	未定	不明
R5	149	1	3	3	7	53	6	38	4	1	25	0	1	0	7	0	2	2	2	1
		7			7	53	74						1	0	7					
	割合	4.7%			4.7%	35.6%	49.7%						0.7%	0.0%	4.7%					
R6	177	2	0	0	2	70	13	51	2	0	28	1	2	0	6	0	3	1	2	0
		2			2	70	95						2	0	6					
	割合	1.1%			1.1%	39.5%	53.7%						1.1%	0.0%	3.4%					
R7	168	2	1	4	4	56	10	59	0	0	15	5	0	2	10	卒業時未定者 R8.3.31現在の移行予定				
		7			4	56	89						0	2	10	1	1	0	8	0
	割合	4.2%			2.4%	33.3%	53.0%						0.0%	1.2%	6.0%					

文化財（登録有形文化財）の登録について

3月26日（木）に開催された国の文化審議会において、県内に所在する建造物1件を登録有形文化財（建造物）へ登録するよう文部科学大臣に答申された。

1 有形文化財（建造物）の概要

- (1) 名称 福寿苑店舗
- (2) 員数 1棟
- (3) 所在地 島根県松江市天神町142番地 他
- (4) 建築面積 113㎡
- (5) 建築年代 昭和26年（1951）/平成前期改修
- (6) 所有者 株式会社福村嘉十郎商店
- (7) 特徴
 - ・天神町の四ツ角に位置する旧呉服問屋の店舗でアールデコ風の端正な外観
 - ・交差点の顔をつくり、昭和24年大火後の耐火建築としても貴重



外観



内観

写真提供：松江市

2 評価

登録基準(1)の「国土の歴史的景観に寄与しているもの」として評価された。

3 登録の件数

答申された建造物が登録された後、県内の登録有形文化財（建造物）の登録件数は、213件となる。

【参考】登録有形文化財について**1 登録対象**

重要文化財（国指定文化財）及び地方公共団体指定の文化財以外の有形文化財のうち、文化財としての価値が高く、保存・活用のための措置が特に必要とされるもの

2 登録基準

建設後50年を経過し、かつ、次のいずれかに該当するもの

(1) 国土の歴史的景観に寄与しているもの

国土を形成する地方独自の歴史的景観を認識する上で特に必要な存在となっているものをいう。

例えば、絵画、写真、映画、文学、歌謡等はその存在が引用されているもの、地名の由来となるなど土地の理解と密接な関係を有するもの、特別な愛称等があるものなど、当該地方において広く親しまれているもの。

(2) 造形の規範となっているもの

【略】

(3) 再現することが容易でないもの

【略】

島根県立古代出雲歴史博物館の再オープンについて

令和7年4月から休館して実施していた天井の耐震改修工事及び空調設備等の長寿命化工事が3月末に竣工した。

今後、展示に適した環境を整えるための調整期間を設け、展示パネルの更新や列品作業等を行ったうえで、10月1日に再オープンする予定。

1 改修等の概要

(1) 天井の耐震改修等

- ・ エントランスホール、中央ロビー及び神話シアターの天井の耐震改修を実施
- ・ 上記と併せて、空調設備の改修等の長寿命化工事も実施



エントランスホール天井

(2) 展示室の魅力アップ

① 神話シアターの改修

映像機器を最新のものに更新するとともに、多言語（英語・韓国語・中国語）に対応した映像を制作

② 展示室の一部改修

以下の方針に基づき、展示内容・構成を変更

- ・ 学校が社会科・総合的な学習で利用しやすいよう、教科書の内容に沿って島根の歴史を通史的に俯瞰できる展示構成
- ・ 出雲・石見・隠岐の3地域を網羅した展示内容（島根の祭りや芸能等を紹介）
- ・ 地図や年表を多用し、歴史を身近に感じられる工夫



神話展示室イメージ

2 今後のスケジュール（予定）

(1) 記念セレモニー

令和8年10月1日

(2) 特別展「その後のヲロチとスサノヲ」

令和8年10月9日～11月29日